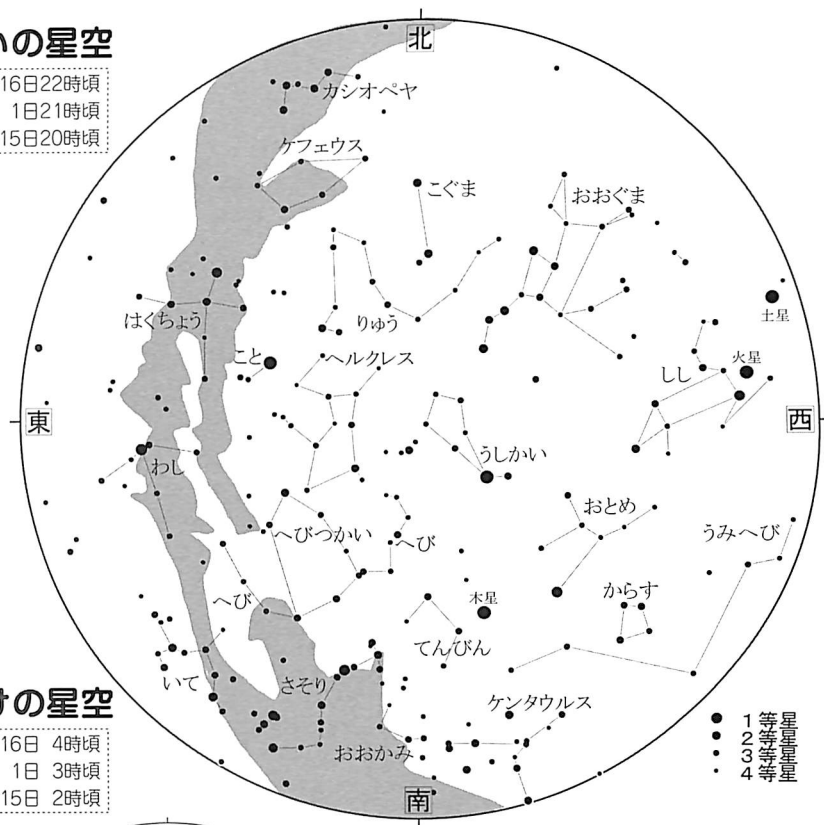


★星空ガイド 6月16日～7月15日

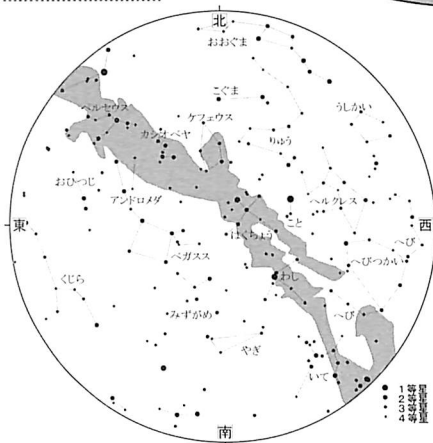
よいの星空

6月16日22時頃
7月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

6月16日 4時頃
7月 1日 3時頃
15日 2時頃



〔太陽と月の出入(大阪)〕

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
6	16	金	4:44	19:12	23:09	9:04	19.9
	21	水	4:45	19:14	1:05	14:47	24.9
	26	月	4:46	19:15	4:44	20:06	0.5
7	1	土	4:48	19:15	9:47	22:48	5.5
	6	木	4:50	19:14	14:34	0:23	10.5
	11	火	4:53	19:13	19:46	4:20	15.5
	15	土	4:55	19:11	22:10	9:13	19.5

<水星が東方最大離角>

水星は太陽系の惑星のうちで、最も内側を回っている惑星のため、いつも太陽のそばにしか見ることができません。そのため、水星を見るのはなかなか難しいのです。地動説を唱えた有名な天文学者であるコペルニクスも生涯水星を見たことがなかった、という説があるぐらいです。

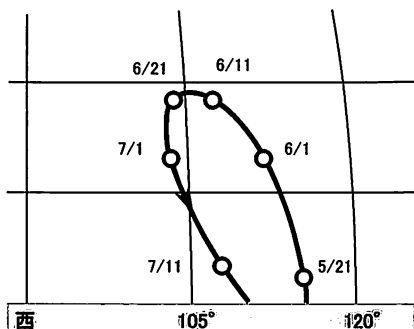
しかし6月21日には、水星が東方最大離角になります。これは、地球から見て水星が太陽の東側に最も離れた位置に来るときを言い、水星が比較的観測しやすくなります。

この日の前後10日ぐらいが、水星が最も見やすい時期です。日没後30分ほど経った午後8時前、西北西の空低いところを探してみてください。水星は約1等星の明るさで輝いています。

<土星と火星・月が接近>

冬から春にかけて明るく輝いていた火星と土星が、そろそろ西の空で見納めとなります。6月27日から29日にかけて、これらの惑星のそばを、新月を過ぎた細い月が通過していきます。27日には水星、28日には土星と月がすぐそばに並んで見えます。

(江越航：科学館学芸員)



日没時の水星の位置

【こよみと天文現象】

月	日	曜	主な天文現象など
6	17	土	月が最近(2時,368919km)
	18	日	●下弦(23時)／火星と土星がならぶ
	21	水	夏至／水星が東方最大離角(夕方、西の空)
	23	金	月と金星・すばるがならぶ
	26	月	●新月(1時)
	27	火	月と水星がならぶ
	28	水	月と土星・火星がならぶ
	30	金	月とレグルスがならぶ
7	2	日	半夏生(太陽黄経100°) 月が最遠(5時,404448km)
	4	火	●上弦(2時)／地球が遠日点通過(8時)／月とスピカがならぶ
	5	水	月と木星がならぶ
	7	金	七夕／小暑(太陽黄経105°)
	8	土	月とアンタレスがならぶ
	11	火	○満月(12時)
	14	金	月が最近(3時,364288km)